

New Books

NO IMAGE

『死んだ山田と教室』

金子玲介／著 講談社

夏休みが終わる直前、人気者の山田が死んだ。悲しみに沈むクラスに担任が席替えを提案すると、教室のスピーカーから死んだ山田の声が聞こえた。山田はスピーカーに憑依してしまったらしい……。

◆死んだクラスメイトの声が聞こえるってホラーか？と思ったけど全然怖くない。むしろ青春ものでした。

『透明なルール』

佐藤いつ子／著 KADOKAWA

「人にどう思われるか」を気にしすぎる女子中学生が、不登校ぎみの転校生やマイペースな学級委員との交流を通じて、自分を縛る「透明なルール」に気付き……。空気の読み合い、息苦しさの先に見つけた希望の物語。

◆大人も子どもも悩まされる同調圧力。賛成でも反対でも自分の意見を言えることが大事だね。

NO IMAGE

NO IMAGE

『ほうかごがかり』 1～3巻

甲田学人／著 KADOKAWA

よる12時のチャイムが鳴ると、ぼくらは「ほうかご」ととられる。学校中の教室に棲む「無名不思議」と呼ばれる異常存在。6人の少年少女は担当するけけ物を観察し、正体を記録する——。

◆これは怖い。そして理不尽。トラウマになりそう(汗)。いったい何人生き残れるんだろうか？

NO IMAGE

蜂（ハチ）という生き物に、皆さんはどのようなイメージを持っているでしょうか？甘いハチミツを集めるミツバチでしょうか？人を襲う怖いスズメバチでしょうか？それは蜂という生き物のごく一部の特徴でしかありません。蜂の種類は、なんと約15万種！蜂の世界は私たちが想像するよりずっと多種多様なのです。

ビジネススーツを身にまとい、石斧を作り、土器で煮炊きし、竪穴住居で過ごす……。現代の道具を一切使わず、自然にあるものだけでゼロから文明を築く！YouTube「週末縄文人」で人気のサラリーマン2人組が、週末限定の縄文時代を生き抜く過程を描くサバイバル・エッセイ。縄文人の生活をする中で何が見えてきたのか。

NO IMAGE

NO IMAGE

この本で紹介されているのは、いつもの食材で気軽に作れるシンプルなサンドイッチ。でも、それがいい！自分で作って食べたいのは、やっぱりこういうサンドイッチなんですよ。卵、ツナなどの定番サンドから、ごちそうサンドまで覚えておいて損はないレシピばかりです。

ここで紹介しているのは、最近購入した本のほんの一部です。探している本が見つからないときは、カウンターで聞いてください。貸出中のときには予約をすることもできます。読む本に迷ったら気軽に司書にご相談を。 (作成：上林)